



前後町長に義援金を手渡す阿部団長(左から2人目)ら

北海道胆振東部地震に義援金

「2018 いなわしろ音楽祭」に寄せられた善意を寄付

猪苗代吹奏楽団と後藤泉会津後援会は2月4日、日赤県支部会津地区猪苗代分区に2万5千円を寄付しました。阿部達也団長や神田功会長らが町役場を訪れ、分区長の前後公町長に寄付金を手渡しました。義援金は、12月8、9の両日に学びいなかで開かれた「2018 いなわしろ音楽祭」で来場者らから寄せられた善意です。阿部団長は「音楽祭は『全国災害復興祈念音楽祭』として開催しました。被災された皆さんの一助になれば」と話しました。

雪上のマウンテンバイクレース

第7回冬のジン IN 南ヶ丘牧場

マウンテンバイクの雪上耐久レース「第7回冬のジン IN 南ヶ丘牧場」は2月11日、磐梯高原南ヶ丘牧場で行われました。男女や年齢別の5種目に県内外から約70人が参加し、1周約1.8kmのコースで、1時間の周回数を競いました。選手たちは雪上の特設コースで熱戦を繰り広げました。ジンギスカップ実行委員会の森山栄幸実行委員長は「雪道は悪路走行の練習に最適です。猪苗代の魅力を自転車でも発信していきたいです」と話しました。



雪上コースをマウンテンバイクで走る参加者



最優秀賞の表彰を受ける遠藤さん(左)

遠藤俊樹さんが最優秀賞に

商工会青年部主張発表会津地区大会

商工会青年部主張発表会津地区大会は2月7日、会津若松市の東山グランドホテルで開かれ、町商工会青年部から遠藤俊樹さんが出場しました。遠藤さんは「青年部活動で動かす町と変える未来」をテーマに、観音寺川桜並木や土津神社のライトアップ事業などの青年部活動や地域活性化への思いを発表。審査の結果、最優秀賞に選ばれ、県大会出場を決めました。遠藤さんは「県大会では会津の代表として堂々と発表したいです」と話しました。

自然が作る氷の芸術

「しぶき氷」に大勢の見物客

1月下旬から2月中旬にかけて、天神浜付近の「しぶき氷」が見頃を迎え、町内外から大勢の見物客が訪れました。猪苗代湖の湖水が強い西風にあおられ、湖岸の樹木に付着してできるしぶき氷。晴天となった1月30日には、自然が作る氷の芸術を写真に収めようと、多くの写真愛好家らが現地を訪れていました。福島市から訪れた大宮定樹さんは「数年前に来た時よりも小ぶりですが、太陽の光を反射してとてもきれいですね」と話しました。



木の枝に付いたしぶき氷を写真に収める大宮さん(右)



雪下キャベツの収穫体験を行う参加者

町内農産物の魅力を伝える

首都圏から体験交流事業で来町

風評被害払拭を目的に町内産農産物などの魅力を触れてもらう「あやこがね味噌作りと雪下キャベツ掘り体験交流事業」は2月2、3の両日、町内で行われ、首都圏から約40人が参加しました。初日には「雪下キャベツ掘り体験」が猪苗代キャベツ研究会のメンバーである深谷知宏さん(夷田)の畑で行われ、参加者がスコップを使って雪の中のキャベツを収穫しました。深谷さんは「雪下キャベツが町の新たな特産品になれば」と話しました。

小檜山ハルノさんが100歳に

長寿を祝い、賀寿などを贈呈

2月18日に100歳の誕生日を迎えた小檜山ハルノさん(上戸)への賀寿贈呈式は同日、小檜山さんの自宅で行われました。県会津保健福祉事務所の本田邦之健康福祉部長が知事賀寿と会津漆器の木杯を贈呈。続いて大川原久夫副町長が賀寿や記念品などを手渡しました。長男の政男さんは「皆さんのおかげで100歳を迎えることができました。これを励みにますます健康で過ごしてほしいです」と謝辞を述べました。



100歳の誕生日を迎えた小檜山さん(前列中央)



遭難者の捜索訓練を行う参加者

冬山遭難に備えて訓練

磐梯山周辺で冬山遭難救助訓練を実施

町山岳会、警察署や消防署などで組織する猪苗代地区山岳遭難対策協議会は2月20日、磐梯山周辺で冬山遭難救助訓練を実施しました。訓練には、同協議会の会員や陸上自衛隊郡山駐屯地第六特科連隊などから約50人が参加。スキー場で雪崩が発生し、雪に人が埋まったことを想定して、遭難者の捜索やけが人の搬送などを行いました。参加者は、救助技術や知識の向上に向けて訓練に取り組みました。

ひまわりこども園豆まき会

ひまわりこども園豆まき会

ひまわりこども園では2月1日、節分にちなみ、同園で豆まき会を行いました。子どもたちは、節分に関する由来や鬼が苦手になっているイワシやヒイラギについて学んだ後、大きな声で豆まきの歌を歌いました。

突然園内に太鼓の音色が鳴り響くと、鬼に扮した職員が登場。子どもたちは「鬼は外、福は内」と元気な声を上げながら古新聞で作った豆を投げ、悪い鬼を追い払いました。



元気に豆まきするひまわりこども園の子どもたち